

- 1 日 時：平成 30 年 8 月 31 日（金）10：00～12：40
- 2 場 所：福岡市総合図書館 3階 第2会議室
- 3 出席者：委 員）青沼美撫子，岡野秀之，梶田由美子，高橋昇，張浩子（計5人）
事務局）飯田館長，中川事業管理部長，若山運営課長，宮川図書サービス課長，
三浦文学・文書課長，八尋映像資料課長 他
傍聴人）5名

4 議事録

1. 開 会

委員紹介／事務局紹介／館長挨拶

2. 新ビジョン事業計画の点検評価

(1) 平成 29 年度新ビジョン事業計画の取組状況及び内部評価についてのヒアリング

<p>委 員</p>	<p>【事業別の評価調書について】 <1 分館の新設> 早良地域交流センター設計の段階では，地域住民の声をどのように反映されているのか。東図書館の成果や課題等の検証を進めたところがあるが，検討結果を具体的に教えてほしい。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>早良地域交流センター建設は市民局が進めており，事業者の募集を行っている。図書館は PFI 事業に含まれないが，選定される事業者により変わってくることも考えられる。図書館としては，開架スペースの面積や明るさ等を要求水準書として提出しており，建設前に図書館と十分協議するよう求めている。 東図書館は2回の評価委員会において，サービスの質や企画に対して高い評価を受けた。定期的に行っている利用者のアンケート調査でも非常に高い評価を得ているが，その一方で，指定管理者側ではどうしてもできない，音の響きやすさや明るさといった点にも意見もあるので，早良地域交流センターの要求水準書にそれらの意見を反映させるよう依頼している。</p>
<p>委 員</p>	<p><3 開館時間，休館日の見直し 4 図書館イベントの充実 5 やすらぎと交流の場づくり 6 館内レイアウトの変更> 3 分館は開館時間が短く，働いている時は図書館に行けなかった。東図書館は開館を延長したが，他の分館ではできないのか。開館時間の点で東図書館に続く分館はあるか。 4 早良図書館でイベントに気付かなかった。各館がテーマを揃えてやると面白い。PR の方法や見せ方を工夫したらいいと思うが，職員は忙しいので，イベント係を作ったらどうか。 5 新規来館者を増やす取り組みはどのようにしているのか。 6 アセットマネジメント（長寿命化）の計画は，図書館開館時から進めるべきだったのではないか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>3 分館の開館時間が短いという意見については，経費の面でかなり難しい。総合図書館と東図書館が約2年前に開館時間を延長したので，その成果や結果を検証しながら，今後図書館全体としてどうしていくのか検討課題としたい。 4 分館によってはスペースの問題もあり，企画が目につきにくかったのではない</p>

	<p>かと思うが、各館工夫を凝らして特色を出しながらイベントを行っており、総合図書館でも PR 等の面で支援していきたい。評価調書には、昨年度の「図書館マンス」について記載しているが、今年度も同企画の準備を進めており、利用者がイベントをきっかけに、新しい本の世界に触れてくれることを目的に取り組んでいく。</p> <p>〔5〕 総合図書館では指定管理者がイベントを行っており、誰でも参加できるイベントを開催しながら、並行して図書館側では、テーマを決めて展示や本の紹介などの取り組みを行っている。広報手段としてはホームページや SNS も利用している。市民がより一層興味をもつことができる図書館にしていきたい。</p> <p>〔6〕 建築して 23 年目を迎えるが、施設の老朽化が目立っている。空調、給排水、屋上防水やその他の設備に、様々な支障が生じている。アセットマネジメント計画は早く進めるべきだったが、財政状況が不透明なため、20～30 年先の計画は立てづらい状況である。総合図書館も、築 20 年を契機に長期保全計画を立てて取り組んでいる。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>書庫もいっぱいになっているが、長期計画の対象となるのか。 長期計画は設備の更新が対象だが、書庫についても今後危惧されるので、これからの課題と考えている。</p>
<p>委員 事務局 委員</p>	<p><〔1〕 分館の新設></p> <p>早良地域交流センターは PFI 方式での建設とのことだが、新ビジョン策定に先立つ「これからの図書館を考える会」で図書館像を検討した際の考え方が、この新ビジョンに反映されていない。早良区南部エリアは地域が広範囲なので施設面積が大きな図書館が必要だと考えるが、分館の床面積は 700 m²にも満たないのに、それをカバーするブックモバイル（移動図書館）もやらないと聞いている。配慮が必要だ。予算はないだろうが、過去の資料を参考に次回以降の内部評価に反映させてほしい。内部評価も正規の職員だけで行っており現場の嘱託員が関わっていない。分館までの意見を吸い上げていないので、次回から改めて欲しい。</p> <p>より多くの職員の考えが反映されるような評価の仕方を検討したい。 現場で利用者と直に接している嘱託職員は利用者によく、その声を聴きやすいため、図書館を良いものにする力は大きい。次回の 5 年計画の時に考えてほしい。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p><〔2〕 貸出・返却拠点等の新設></p> <p>返却拠点の検討は続けているだろうが、経費の面で見込めなかったということだが、今後、予算を獲得する方向で検討していくということか。</p> <p>ときめきショップの返却拠点が改装を経て再開したほか、新たに科学館が貸出・返却拠点としてスタートし、利用者も増えている。しかしながら、物流体制は現状で限界に達しており、返却拠点を増やそうにもコストの問題がある。また、貸出拠点は、スタッフや場所、物流とかなりの費用負担があり、検討を行ってはいるが厳しい状況である。</p>
<p>委員 委員</p>	<p>早くかなうといい。貸出・返却拠点が増えてほしい。 貸出拠点については、運営審議会で 5 年以上前から言い続けてきた。新ビジョンの計画に盛り込まれたのに、実際は費用がかかり、できないとの答えだ。開館延長と貸出拠点の設置、ふたつの経費を比較した上で、どちらかで教育委員会に計画をあげてほしい。それでもだめなら仕方ない。浦安市の駅前に貸出拠点があるので、同</p>

事務局	<p>じようにやってほしい。</p> <p>浦安市について調査を行ったが、同市では、新浦安駅前の複合施設建設時に貸出・返却拠点が設置されたという経緯がある。福岡市で同様なものが可能かどうか、今後とも調査は行っていく。</p>
委員	<p>コンビニの活用など、費用をミニマムにして効果を上げることができないのか。「予算がない」という一言で却下される。貸出スポットは、分館新設や開館時間の延長より経費の面ではやりやすいのではないか。</p>
事務局	<p>貸出拠点・返却拠点の設置は重要なことと考えている。大事なことは場所を確保することであり、そのための交渉は行っている。予算要求は、具体的な場所の確保など、実現可能性がないとできないため、それらも含めて課題について取り組む。</p>
委員	<p><8> レファレンスサービスの充実></p> <p>相談件数が伸びた感じがしない。図書館の SNS 登録者に事業の案内をメール配信するとか、メディアに対してプレスリリースなど、できることはないか。</p>
事務局	<p>プレスリリースとしては行っていない。メールレファレンスは数としては多くないが、通常の利用以外にも、本来はサービス対象ではない他都市や海外からメールで問い合わせがくることもあり、周知は広がっているのではないか。来館しない人に情報をどう伝えるか、PRの方法について検討したい。</p>
委員	<p><13> 公民館等の読書活動への支援></p> <p>公民館に読書ボランティアを派遣するようなことは考えているのか。</p>
事務局	<p>総合図書館で「読書活動ボランティア講座」を実施しており、29年度は延べ540人が参加した。読書活動に従事するボランティアは地域文庫、公民館や施設などで幅広く活動を行っている。生涯学習課と連携しながら、情報提供や交流会の場でのマッチングなどの努力をしており、新たにボランティア活動を行いたいという人と地域を繋いでいきたい。</p>
委員	<p>公民館にも格差がある。大原公民館の蔵書はあまり変わらない。室見公民館には良い本が多くある。公民館の支援を行ってほしい。</p>
事務局	<p>団体貸出における公民館の登録は平成29年度実績で61団体と少しずつ増えているものの、全公民館の半数に満たない。市民が当館の本に身近に触れ合える場所として公民館の存在は魅力的である。定期的に本を入れ替える団体貸出は、福岡市では活発に機能しており、他都市と比べても本市の特色であると思うので、今後とも伸ばしていきたい。公民館に対する働きかけについても、今後行っていきたい。</p>
委員	<p>図書館と生涯学習課が行っているのは知っている。過去、4年間かけて公民館に小さい子どものためにスタンダード文庫を整えてくれた。何故公民館に本が置かれているのかということ発信してほしい。</p>
委員	<p><9> 情報提供の充実></p> <p>取り組み状況を教えてほしい。</p>
事務局	<p>医療情報の提供や子育て支援などを行っている。イベント毎に行うアンケート調査によると、例えばがんに関する講演会では、これまで図書館へ来たことがなかった人が、病院でこのイベントを知って参加したなど、図書館利用へのきっかけづくりになっている。</p>

委員 事務局	この企画から本にどう繋がったか教えてほしい。 企画に係るブックリストの配布などを行っている。
委員 事務局	<p><14 議会図書室との連携></p> <p>議会図書室の利用者は市議会議員なので、市議会議員への PR など、議員活動を支援するため直接働きかけたらどうか。</p> <p>議会図書室は市議会議員、会派職員、市職員が利用できる。PR については議会図書室が主体となって、「議会図書室だより」で総合図書館との連携について紹介されているほか、市職員には庁内の電子掲示板において定期的に広報が行なわれている。</p> <p>平成 28 年度が 45 冊、平成 29 年度が 38 冊という貸出数は多いのか少ないのか。</p> <p>議会図書室は専門図書館であり、行政などに関しては総合図書館も所蔵していない図書を置いているので、それらの利用にもよると思う。</p>
委員 事務局	<p><16 モデル児童図書目録の配布></p> <p>先日、分館で配布している「モデル児童図書目録 中級」がなくなっていたが、今後も続けてほしい。</p> <p>モデル児童図書については、昨年度から毎年更新し A4 タイプ（A4 判表裏）のリストに改めた。各グレードを揃え、手に取りやすくなったので、子ども図書館の窓口でもよく見られている。毎年発行することで、新しい本もフォローできている。</p>
委員 事務局	<p>新しい本もいいが、評価の定まった本についても目配りする必要があると考える。目録は好評だと感じているので残してほしい。</p> <p>図書館は目録に否定的で、A4 タイプで十分だと言うが、いかがか。</p> <p>目録を A4 タイプに切り替えたのは、冊子体目録の作成には時間がかかってきたからだ。しかしこれまで目録でもさまざまな本を選定してきた実績はあるので、ホームページで公表している。様々な手法でやってみたい。</p>
委員 事務局	<p><18 ヤングアダルト層への広報活動の強化></p> <p>ヤングアダルト層が本に接する機会をどのように作るかが大事である。リーフレットを出しているということだが、他に何か新しいことできないか。</p> <p>昨年度、新たな試みとして、総合図書館から市立高校に対し 1 か月間、計 216 冊の貸出を行った。また、ヤングアダルト層向けの取り組みとして読書相談員が企画して、30 年度は、TRPG（テーブルトーク・ロール・プレイング・ゲーム）というゲームを図書館でやってみて、ヤングアダルト層を本に繋ぐというイベントを行った。</p>
委員 事務局	<p><17 新一年生への貸出カードの付与></p> <p>小中各 1 校に対し試験的に行っている段階なのか。</p> <p>昨年度試験的に行ったが、新規登録者数がごく少数に留まるなど、効果に疑問があり、今年度は行わなかった。別の形での働きかけを検討したい。</p>
委員	<p>「図書館に行ったことがない子がいる」と小学校の図書館ボランティアが嘆いている。費用をかけず、読み聞かせボランティアへのアピールや、保護者を取り込むような仕掛けを考えてはどうか。</p>
委員	<p>昔は土曜、日曜に図書館に行くことがあったが、今の子どもたちは習い事で図書館に行く時間がない。イベントのチラシをもっと工夫して、興味を引くようにしたほ</p>

委員	うがよい。 家族を巻き込んで、ということだろう。フィンランドではスーパーマーケットの上に図書館がある。福岡市で、大型ショッピングモールを作る際には必ず図書館スペースをとるといような条例を作れば、図書館が生活の動線に入り、ミニサイズの分館ができるのではないか。
委員	図書館も駐車場が有料になって利用しづらいという声を聞く。
委員	<21 図書館外施設でのアジア映画上映事業 22 広報活動の強化>
事務局	アジアフォーカスと総合図書館の連携ができないか。 図書館が所有するのは、ほぼアジアフォーカスで上映されたものである。連携としては、アジアフォーカス福岡国際映画祭で日本初公開、九州初公開のような映画が上映されているので出来る限り図書館で収集・保存するように努力している。映像ホールで定期的にアジアのタイの特集・マレーシア・シンガポール等を上映しているが、日本国内で観覧できるのは総合図書館のみである。今年、図書館が所有する70年代のフィリピン映画「水の中のほくろ」の35mmプリントがデジタル化され、アジアフォーカスで上映される。
委員	35mmデジタルリマスターできるのか。
事務局	費用がかかる。「水の中のほくろ」はフィリピンのテレビ局が費用を出した。
委員	データのコピーはもらえるのか。
事務局	交渉はこれからである。
委員	貴重なものがあることを市民は知らないのでは残念である。何らかの形でPRできないか。
委員	<23 歴史的公文書のデジタルデータ化及びシステム化 24 古文書資料・郷土資料のデジタルデータ化>
事務局	文書や資料のデジタルデータをインターネットで公表することは大事だが、デジタルデータ化すると図書館に来なくなるのではないか。何か工夫しているか。 デジタルデータ化は公文書や古文書資料の一部で行っているが、予算等の制約もあり、活用については少しずつ取り組んでいる状況である。総合図書館のホームページでは、毎年開催している歴史的公文書展示の「しおり」のバックナンバーを閲覧することができる。また、トップ画面に「総合図書館のコレクション」紹介コーナーを作り、古文書資料を画像と解説文で紹介している。このような資料を所蔵していることを知らせ、図書館に足を運んでもらいたいと考えている。
委員	資料の保存をすることが一番で、一部の資料を紹介しながら、図書館で見ってもらうというイメージか。
事務局	そのとおりである。文書資料を収集・保存し、後世に残していくことが当課の重要な役割である。
委員	<25 福岡市文学館の利用拡大>
委員	赤煉瓦文化館は外国人観光客が多いので、文学館の資料に英語でのキャプションがあるといい。昨年の上野英信展はよかった。皆に知って欲しい企画である。
委員	美術館でも英語・中国語・韓国語のキャプションが一般化している。4言語対応が普通になっており、将来のために準備し実現できたらいい。

事務局	<p>キャプションすべてに翻訳をつけるのは難しいかもしれないが、主なものについては対応を検討したい。</p>
委員	<p><28 職員の育成及び技術向上></p> <p>研修は充実しているが、資料に関する知識や専門研修が評価調書に入っていない。今年度は地区別研修の当番館になっているから、ここで受講できるというメリットがある。総合図書館はレファレンスブックなども揃っている良い図書館であるが、福岡県図書館協会の枠の中で研修協力できないか。情報の取得方法を図書館職員が知っているかどうかで、レファレンス能力に大きな違いがある。専門向けの研修を考えてほしい。</p>
事務局	<p>専門研修については評価調書に記載していないが、市内外で行われている専門研修に何名か派遣しており、今後も進めていく。</p>
委員	<p>実際にやっているなら取り組み状況に記述するようにしてほしい。</p>
委員	<p><26 運営方法（民間活力の導入）の検討></p> <p>具体的にどのような評価がなされたのか教えてほしい。東図書館は適切な運営が行われているか。選定評価委員会はどのような形で継続していくのか。</p>
事務局	<p>サービスの質や履行状況などの評価項目がある。例として、貸出が多い反面、書棚に本が少ないという利用者意見に対し、書架の空きスペースを利用し、貸出の少ない本にスポットをあてるミニ展示を行い、新たな本との出会いを演出したことなどを評価した。具体的な評価については、運営審議会に報告しホームページで公表する。</p>
委員	<p>指定管理者選定・評価委員会は続いていくのか。</p>
事務局	<p>選定・評価委員会は毎年行い、前年度の評価を行う。指定管理者の指定期間が終わるまで毎年行っていく。</p>
委員	<p>指定管理者を初めて行った館なので、丁寧に評価を行ってほしい。</p>
委員	<p>早良地域交流センターは指定管理者になるのか。</p>
事務局	<p>早良地域交流センターをどうするのか決めていない。</p>
委員	<p>東図書館に指定管理者が導入される前は、いろんな意見があったが、今はおさえられている。慎重に考えてほしい。</p>
委員	<p><27 図書館ボランティアとの共働の推進></p> <p>BIZCOLIでは、インターンシップを3人受け入れている。彼らが宣伝してくれる。職場体験はやっているのか。</p>
事務局	<p>中学校の依頼により受け入れを行っている。昨日も3名来ていた。インターンシップも大学からの依頼があれば受け入れる。司書講習の実習は1名受け入れた。</p>
委員	<p>職場体験がヤングアダルト層への広報に連動させることができる。学校からの依頼だけでなく、図書館から誘ったらどうか。</p>
事務局	<p>今年度の職場体験は5校であり、そのうち1校は特別支援学校である。</p>
委員	<p>社会科見学をやってみてはどうか。</p>
事務局	<p>総合図書館には、小学生が学校行事で来ている。</p>
委員	<p>以前は中学3年生の総合の時間で、各自テーマを決め卒業論文を書く授業があり、貸切バスで総合図書館に来て、貸出カードを作り、本を借りるということが数年続</p>

	<p>いたが、カリキュラムが変わり、今は行われていない。学校図書館ボランティアをしていると、生徒から本について尋ねられることがあるが、専門書は学校図書館ではなく、総合図書館を案内した。学校の図書館と総合図書館がオンラインでつながってれば、利用しやすい。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>子ども読書支援計画（1，2次）で、行橋市で計画委員をしていた。行橋市は学校と図書館をオンラインで1本化した。福岡市もそうなるといい。</p> <p>システムは繋がっていないが、総合図書館の学校図書館支援センターが支援用図書を学校に貸し出すなどの支援を行っている。また、図書館学習の枠組みはあるが、図書館への移動に貸切バスが必要など、費用の点などから利用が進んでいない。学校から申し出があれば、図書館を使った調べものの学習や、図書館の使い方を一緒に学んでいく取り組みを行っている。</p>
<p>委員 委員 委員</p>	<p>相互貸借は良いシステムであり、感心している。</p> <p>国内のみでなく海外とも行っており、世界どこへでも繋がっている。</p> <p>総合図書館には3回しか来たことがないが、レファレンスが素晴らしい。</p>
<p>委員 事務局 委員 事務局</p>	<p><20 学校図書館支援センターの設置></p> <p>留守家庭子ども会への支援はどうなっているのか。</p> <p>団体貸出で行っている。</p> <p>問い合わせがあつたら対応するのか。</p> <p>大部分の留守家庭子ども会が貸出登録を行っているが、利用はそれぞれの事情による。留守家庭子ども会に限定したPRは行っていない。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>団体貸出が増えるほど資料の充実が求められると思うので、続けてほしい。</p> <p>中学校との連携が伸びないのは、どのような問題があるのか。</p> <p>学校側もさまざまな業務に忙殺されているのだと思う。昨年度までに全校を訪問し、状況把握や学校図書館支援センターの業務紹介を行った。また、今年度は中学校の図書館事業研修会において、学校図書館支援センターを活用した調べ学習の取り組み紹介に合わせ、支援用図書を持ち込んで事業周知を図ったところである。これからの広がり期待している。</p>
<p>委員</p>	<p>学校司書が子どもたちを見ながら蔵書を構築するのは難しい。図書館担当者が司書教諭でないことも多く、学校図書館が機能しているのか疑問である。学校支援センターができて数年だが、これからは人的な支援が必要なので、協力をお願いしたい。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p><6 館内レイアウトの変更 11 無線LAN環境の整備></p> <p>内部評価で6・11をC評価にしているのは何故か。</p> <p>6 カフェスペースは設置しているが、エリアのリニューアルやビデオライブラリーの見直しはできていない。現段階では、進んでいないためC評価とした。</p> <p>11 無線LANは、総合図書館は整っているが、市民センターや地域交流センターで無線LANは整備されていないため、分館は未整備である。1館で100万程度の経費がかかり、現状での設置は難しい。</p>
<p>委員</p>	<p>無線LANは必須ではないのか。総合図書館の予算ではなく、市民センター等を管轄する市民局に図書館から働きかけを行ってはどうか。</p>

事務局	【総括の評価調書について】
委員	『目標数値の①入館者数を空白にしていることの説明』
事務局	入館者数の誤りの検証は、どのような方法で行ったのか。
委員	旧センサーと新センサーを同時に設置し、加えて職員による計測を、同日に1日行った。新センサーと職員の手動による入館者の数は数人の誤差だった。
委員	検証結果に差があるのが分かったら、その数値は利用できないのか。
委員	公表は別として、傾向は分かっていた方がよい。分館も旧センサーを使っているのなら、誤差を取り続けて過去に戻し、傾向を見続ける方がよいのではないか。
委員	平成28年度までの旧センサーでの統計と、平成29年度以降の新センサーの数値を利用したらどうか。過去の公表した入館者数をなかったことにするのはできないので、センサーを変えたら前年度と大きく数値が異なっていることを分かるようにしておけばよいのではないか。
事務局	入館者数の目標値を空白にする必要はなく、そのままいいのではないか。
委員	今後発行する印刷物において、過去の疑義ある数値は、行政として公表できない。
事務局	事実を表記すれば、それでいいのではないか。
委員	既に公表した結果は消さないが、新センサーでの計測が実数に近いものである。空白の方がおかしい。「誤差の数値も含んでいる」と、変更年に表記すればよいのではないか。
委員	内部利用として過去と今を接続させて考え、公表については統計も遡及改定や入替を行う。統計の取り方を変えたと言って、過去の数値を残すのはよくやることで、過去の数値を消す必要はないのではないか。
事務局	どう取り扱うか、運営審議会で議論していただくこととする。

(2) 平成29年度新ビジョン事業計画の外部評価の提出について

3. 閉会

事業管理部長挨拶／事務連絡

*1～30は事業計画一覧表の事業内容